

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期滑川町総合戦略推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

埼玉県比企郡滑川町

3 地域再生計画の区域

埼玉県比企郡滑川町の全域

4 地域再生計画の目標

【地域の現状及び課題】

国勢調査に基づき5年ごとの総人口の推移をみると、東武東上線つきのわ駅の開業や、月輪土地地区画整理事業に伴う宅地整備の進展により、住宅立地が進んできたことを背景に、総人口12,836人であった2000年以降、人口の増加が続き、2025年5月1日時点で19,732人となっている。2000年以降の急激な人口増加の伸びと連動するように、年少人口・生産年齢人口・老年人口ともに伸びを示しているが、近年、年少人口・生産年齢人口の増加傾向は鈍化しつつある。また、年齢3区分別人口割合の推移をみると、1990年から2020年にかけて、年少人口は19.1%から16.0%、生産年齢人口は69.3%から61.6%、老年人口は11.7%から22.4%と、少子高齢化が進行しているのがわかる。

自然増減のみの推移では、2004年から出生数が急激に増え、ピーク時の2006年では、増加前と比較して2倍の人数となる。2021年からは減少に転じて、2022年には37人の自然減となっている。また、2022年の合計特殊出生率は1.27となっている。

社会増減のみの推移では、2003年から2005年の間で転入者が急増しているが、翌2006年以降は減少の傾向にある。その一方で、転出者数は増減を繰り返しながらも上昇をみせている。2022年には88人の社会増となっている。

このように、本町ではこれまでに取り組んできた人口減少問題や少子化問題、

子育て支援が奏功し、人口増加率、合計特殊出生率では県内でも上位を維持している。第5次滑川町総合振興計画のキャッチフレーズにおいても、「住んでよかった、生まれてよかったまちへ「住まいるタウン滑川」」を掲げ、これからも人口増加につながる数々の施策を積極的に推し進めて行きたいと考えている。しかしながら、日本全体の人口が減少を続け、埼玉県においても700万人を切るという見通しの中で、本町の人口をさらに増加させることは、非常に厳しいものがあり、国立社会保障・人口問題研究所によると人口増加率は鈍化しつつも、2050年には2万2千人程度に達することが推計されている。

少子高齢化が進行し、将来的に人口が減少すると、労働力不足等による地域経済へのマイナスの影響、社会保障費の増大、本町の財政悪化、空き家増加による景観や治安の悪化等といった課題が生じる恐れがある。

上記の課題に対応するため、今後も人口を維持し、持続可能な地域社会を目指す必要がある、町民の協力のもとに、あらゆる施策を組み合わせ、駆使していかなければならない。

【基本目標】

今後も人口を維持し、持続可能な地域社会を形成するため、本計画において、次の事項を基本目標に掲げ、本町における計画人口の実現や地域経済縮小の克服を図り、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指す。

- ・基本目標1 町への新しいひとの流れをつくる
- ・基本目標2 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る
- ・基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標4 安定した雇用を創出し経済の活性化を図る

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値（計 画開始時点 ）	目標値 （2025年度）	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	社会増減数（転入者数－転出者数）	88人/年	247人/年	基本目標1
イ	健康寿命	（男性）17	（男性）18	基本目標2

		. 85年 (女性) 21 . 47年	. 00年 (女性) 22 . 00年	
ウ	合計特殊出生率	1. 23	1. 81	基本目標 3
	婚姻件数	54組/年	80組/年	基本目標 3
エ	女性の就業率 (30歳～39歳)	72. 3%	73. 0%	基本目標 4
	高齢者の就業率 (65歳以上)	26. 9%	28. 0%	基本目標 4
	農業産出額	103千万円/ 年	110千万円/ 年	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5－1 全体の概要

5－2 のとおり。

5－2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A 2 0 0 7】

① 事業の名称

第2期滑川町まち・ひと・しごと創生推進計画事業

ア 滑川町に人が集まる戦略プロジェクト

イ 滑川町の安心な暮らしを守ろう戦略プロジェクト

ウ 滑川町に住んで子どもを育てていこう戦略プロジェクト

エ 滑川町の安定した雇用を支えよう戦略プロジェクト

② 事業の内容

ア 滑川町に人が集まる戦略プロジェクト

比企地域で唯一の人口増加を示す滑川町の魅力は、居住ニーズに対応した住環境、豊かな自然に加えて、安心できる人とのつながりである。今後も安定した人口増を維持するため、より多くの人に滑川町の暮らしやすさをアピールする必要がある。様々なツールを活用した行政からの情報発信に努める

とともに、誰もが滑川町の体験や暮らしの良さを発信したくなる魅力づくりを推進する。

【具体的な事業】

- ・滑川体験促進事業
- ・滑川くらしアップ事業
- ・情報ツールを用いた町の魅力発信 等

イ 滑川町の安心な暮らしを守ろう戦略プロジェクト

超高齢社会・人口減少社会においては、地域の絆による安心、健康や生きがいによる安心、便利さによる安心が求められる。それぞれの分野から安心な暮らしの提供に資する取組を進める。安心なまちづくりを進めることで、滑川町の魅力を高め、安定した人口の維持を目指す。

【具体的な事業】

- ・学校・家庭・地域と連携した教育環境整備
- ・かかりつけ医推進や健康増進事業
- ・交通網の整備で新しい地域の構築 等

ウ 滑川町に住んで子どもを育てていこう戦略プロジェクト

滑川町は、地域全体の支え合いのもと、福祉・健康・医療の各分野が連携し、安心して子どもを産み育てられる環境を整えており、埼玉県トップクラスの合計特殊出生率を維持している。今後も継続して妊娠期・子育て期へのサポートを推進するとともに、若者の結婚への希望をかなえる環境づくりに努める。

【具体的な事業】

- ・妊娠、出産、子育てを包括的にサポート
- ・子育て環境の充実
- ・結婚の支援 等

エ 滑川町の安定した雇用を支えよう戦略プロジェクト

滑川町の総合戦略においては、首都圏へのアクセスのしやすさと豊かな自然環境という強みを生かし、新たな働き方のステージとなるまちづくりを目指す。新たな価値を生み出す人材・滑川独自の付加価値のある商品・生産力のある企業が好循環をつくるための施策を展開する。

【具体的な事業】

- ・安定した雇用の確保・企業誘致
- ・農業分野で雇用の拡大
- ・就職、企業、経営サポート 等

※ なお、詳細は第2期滑川町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

800,000 千円（2025 年度）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度2月から3月頃に、滑川町まち・ひと・しごと推進審議会において効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに滑川町公式WEBサイトで公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2026年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2026年3月31日まで